

ALT



こんにちは
ローニー・トムスン
外国語指導助手 (ALT)
です

すごい!ローニーは韓国語もできるの?

五條の皆さん、こんにちは。「オヒサシブリデスネ」しばらく僕に会えなくてさびしかった? どうもどうも。この前記事を書いてからたくさんの方がいました。

韓国へも行ってきたのですが、とても楽しかったです。今韓国で英語を教えている大学時代の友人が9人いるのです。6人がソウル、3人がデグ(大邱)にいます。韓国と日本とは、ずいぶん違うということがよくわかりました。いくつかの韓国語は、発音するのがとても難しかったです。僕はしょっちゅう「アリガトウ」とか「ソウデスネ」と言おうとして、「あ、そうだ。こういっても通じないんだ。」と思いなおしました。僕の友達のほとんどは韓国語が話せず、ハングルを読むのは一人だけだと知って驚きました。僕は1000以上の日本語の単語を覚え、ひらがな、カタカナもよく知ってるし、50~60の漢字は読めますからね。僕はますます、この日本語という新しい言葉を勉強したくなってきました。韓国で少し韓国語も覚え、アニョハセヨ(「こんにちは」とか「さようなら」)カムサムダ(「ありがとう」)ヨギオ(「ここでいい」)、ハナ、ドゥゲイ、セゲイ(「ひとつ、ふたつ、みっつ」)なんか。ワールド・カップ・スタジアムで韓国対ウルグアイのサッカーの試合も見ました。「メッチャ、タノシカッタ」です! また、非武装地帯の南北国境も見ました。とても良い歴史の勉強になりました。

日本に帰ってくると小学校6年の子供は中学1年生に、幼稚園の子供は小学1年生になっていました。「オメデトウネ」。皆さんとまた会えてとてもうれしいです。桜の花も見ました。とっても美しかったです。故郷のビクトリア(カナダ)にも桜はありますが、日本文化の中での桜は、特に重要な位置を占めているのです。だから春のこの季節は、日本では何か魔法のような季節なんですね。僕はこいのぼりが好きです。吉野川べりのこいのぼりは、特に美しいです。皆さんもこどもの日やゴールデン・ウィークをのびのびリラックスして楽しく過ごされたのでは。「マタネ!」

(文中「 」内のカタカナ表記は筆者が日本語で書いているものです。)

*この記事は、ALTの書いた英文を訳したものです。
英語版は中央公民館にあります。



子どもは地域の宝

あいさつや声かけで子どもたちを見守りましょう!

- 子どもの基本的な生活習慣を身につけさせるためにも、お子さんのいる家庭では家族ぐるみであいさつを交わしましょう。
～おはよう おやすみなさい いただきます ごちそうさま いただきます～
- 家族そろって食卓を囲みましょう。
～食卓を囲んでの会話から 子どもたちの変化が感じられます～
- 登下校など、子どもたちが各家庭の玄関前などを通った場合は、あいさつや声かけをしましょう。
- 買い物や犬の散歩の時などでも、子どもたちと会ったら、あいさつや声かけを行い、また、遠くからでも様子を見守ってあげましょう。
- よい行いを目にした時は、ためらわずほめてあげましょう。
- 危険な遊びやルール違反には、見て見ぬふりをせず注意してあげましょう。

まず、できることから始めましょう。

■問合せ先 青少年センター ☎24・3004